

# 洲本市自転車ネットワーク計画【概要版】

## ■ 計画策定の背景と目的

自転車は通勤・通学や買い物など、幅広い年齢層の人々に日常的に利用されています。

また、淡路島「アワイチ」によるサイクルツーリズムの取り組みが進められており、サイクリングを楽しみながら観光するという形態が定着しつつあります。

一方、自転車関連の事故の割合は増加の傾向を示しています。また、自転車の走行に関するルールやマナーが十分に浸透しておらず、歩行者と自転車の錯綜が発生する危険性があります。

以上のことから、本市における自転車の安全な通行空間を計画的、効率的に整備を行うために、「洲本市自転車ネットワーク計画」を策定します。

本計画の計画期間は令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

## ■ 計画の目標と基本方針

自転車利用に関して、アンケート調査や各種統計資料等から3つの課題を把握しました。

**課題1. 洲本市中心市街地における自動車・自転車・歩行者の錯綜の発生**

**課題2. 市民の自転車利用に対する安全意識の不足**

**課題3. サイクリングルートの走行環境の改善余地**

これらの自転車走行に関する課題を踏まえて、計画の目標を

### 「市民も来訪者も安全で快適に利用できる自転車走行空間の創出」

としました。また、計画目標を実現するために3つの基本方針を以下のように定めました。

### 基本方針1 自転車利用者の多いエリアの優先整備

自転車と自動車および歩行者の錯綜を減らし安全に共存して通行できる道路空間を目指し、道路空間の整備を行います。自転車走行空間のネットワーク化により、自転車利用の利便性確保と計画的な整備を推進します。

### 基本方針2 事故の多いエリアの優先的整備と自転車利用ルール、思いやり運転の啓発

自転車関連の事故が集中している市街地を優先的に整備します。また、自転車利用者に対する自転車利用ルールやマナーの啓発、自動車ドライバーに対しては、自転車走行空間の路面標示等によって自転車利用者に対する注意を促します。

### 基本方針3 サイクルツーリズム振興に寄与するアワイチルートの整備

サイクリングルートについては、安全性以外にも、特に郊外部に対する快適な走行性や景観等にも配慮する必要があります。また、アワイチは広域サイクリングルートとなるため、近隣市と調和のとれた整備を行っていきけるよう、連携をとって進めていきます。

## ■ 路線の選定について

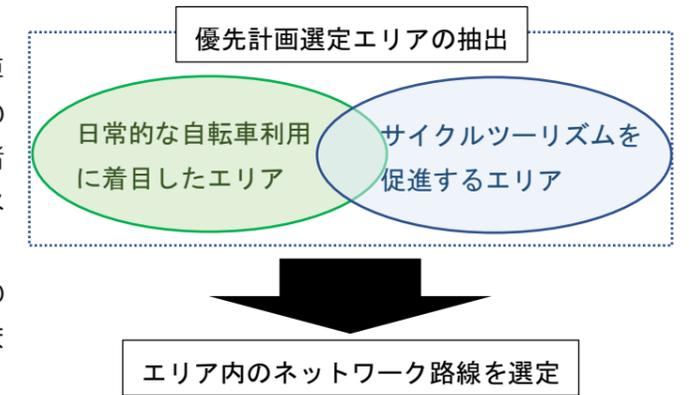
### ● 優先計画選定エリアの抽出

ネットワーク路線の選定にあたっては、優先的に計画策定を推進する対象エリアを検討し、将来にわたり段階的、計画的にネットワークを形成していくものとししました。

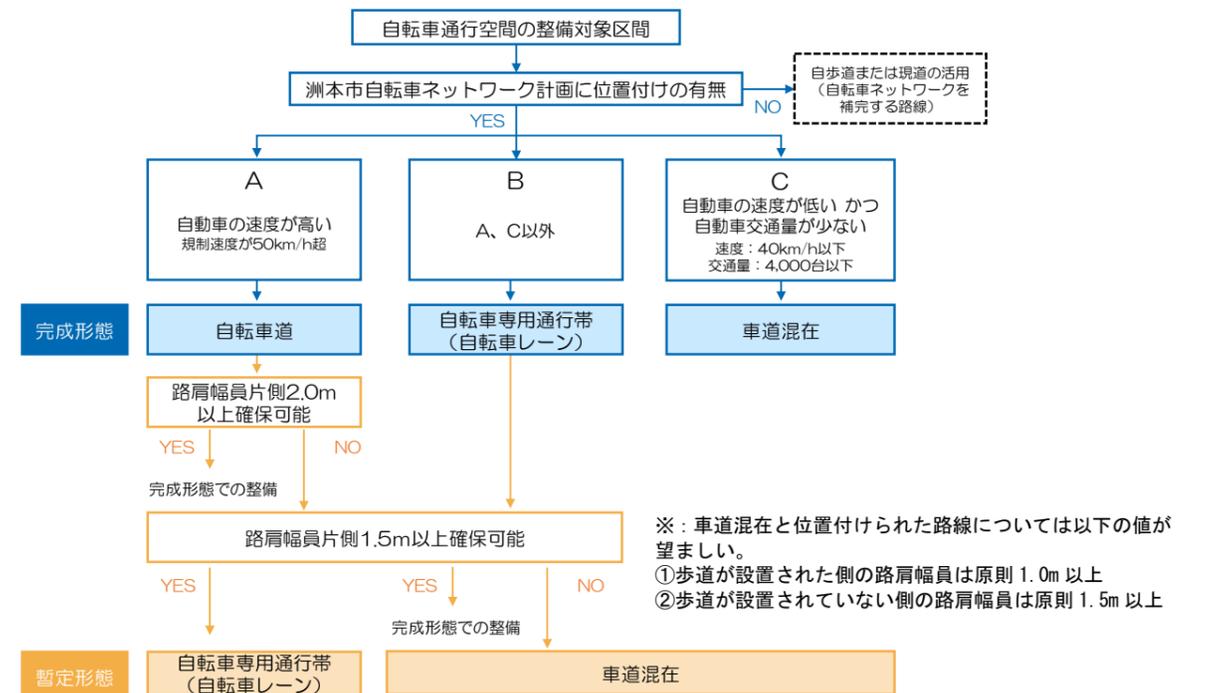
優先的に計画策定を行うエリアについては、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（平成24年11月策定・平成28年7月改訂）（国土交通省・警察庁）」を参考に、洲本市での自転車の利用実態や施設立地の状況を踏まえながら検討をおこないました。検討の結果、日常的な自転車利用に着目エリアとして、洲本地域中部エリアを優先的に検討するエリアと位置づけました。また、サイクルツーリズムを促進するエリアとして、「アワイチ」について幹線である沿岸部の「アワイチルート」と洲本市内を横断する「ショートカットルート」を優先的に検討するエリアとして選定しました。

### ● 路線の選定

優先計画策定エリア内の路線について、自転車での利用が想定される施設の配置状況、自転車の事故の発生状況、各種調査等により自転車利用者から課題が指摘された路線等を踏まえながらネットワーク路線の候補路線の選定を行いました。候補路線を選定したのち、ネットワークとしての連続性、各種調査結果、現状の道路幅員等を踏まえて、ネットワーク路線を選定しました。



## ■ 整備形態の選定フロー

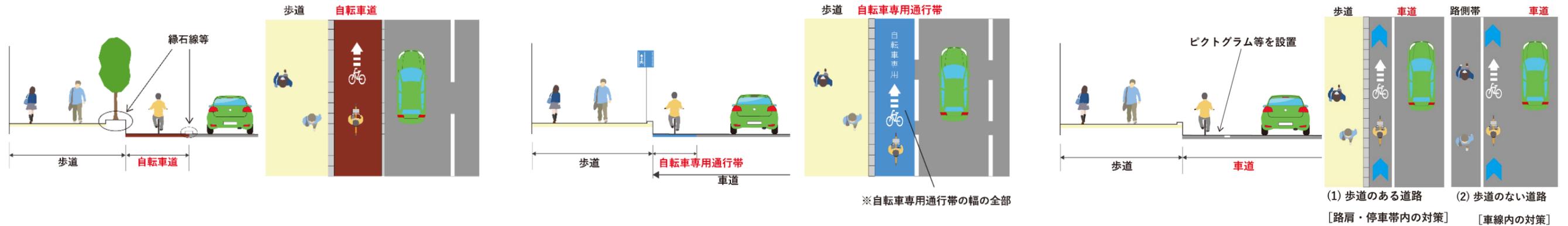


## ■ 整備形態について

○自転車道：縁石等により構造的に分離

○自転車専用帯（自転車レーン）：路面の色等で視覚的に分離

○車道混在：路面などに矢羽根表示、自転車ピクトグラム設置



## ■ 目指すべき整備形態と当面の整備形態（暫定形態）

選定した路線について、整備形態の選定フローに基づき、目指すべき整備形態を検討しました。ただし、幅員の確保が困難な場合には、暫定形態をとることとします。

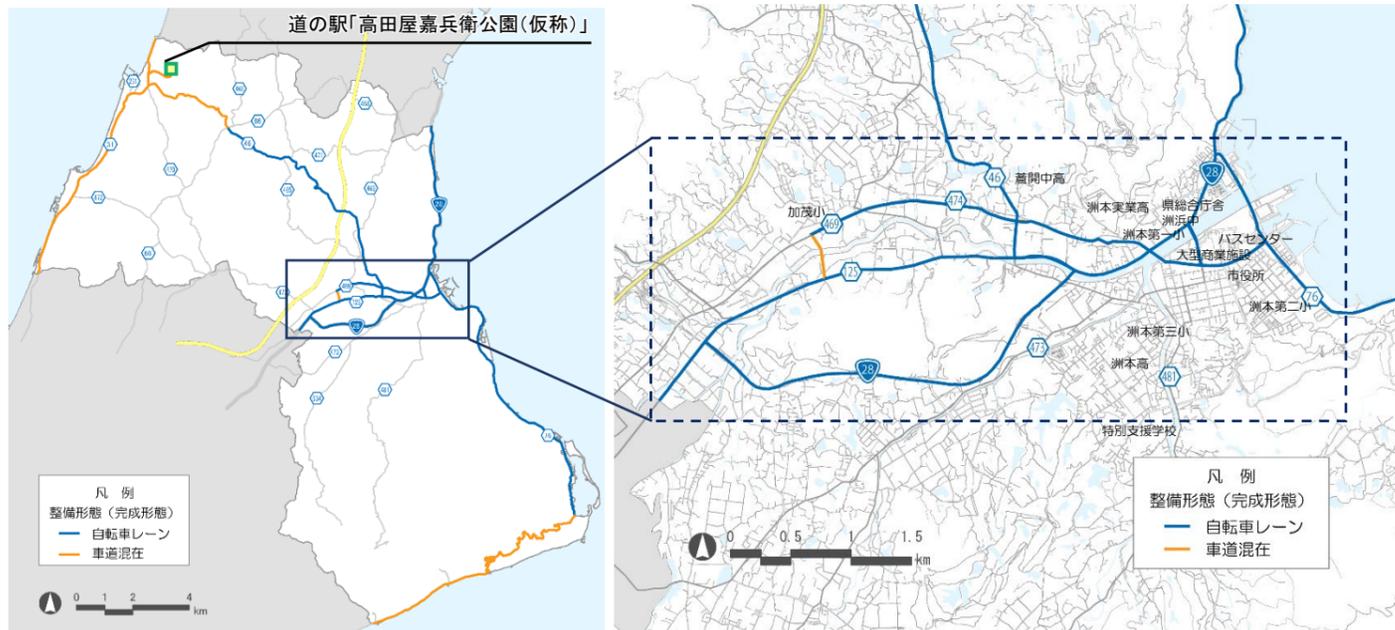


図 目指すべき整備形態

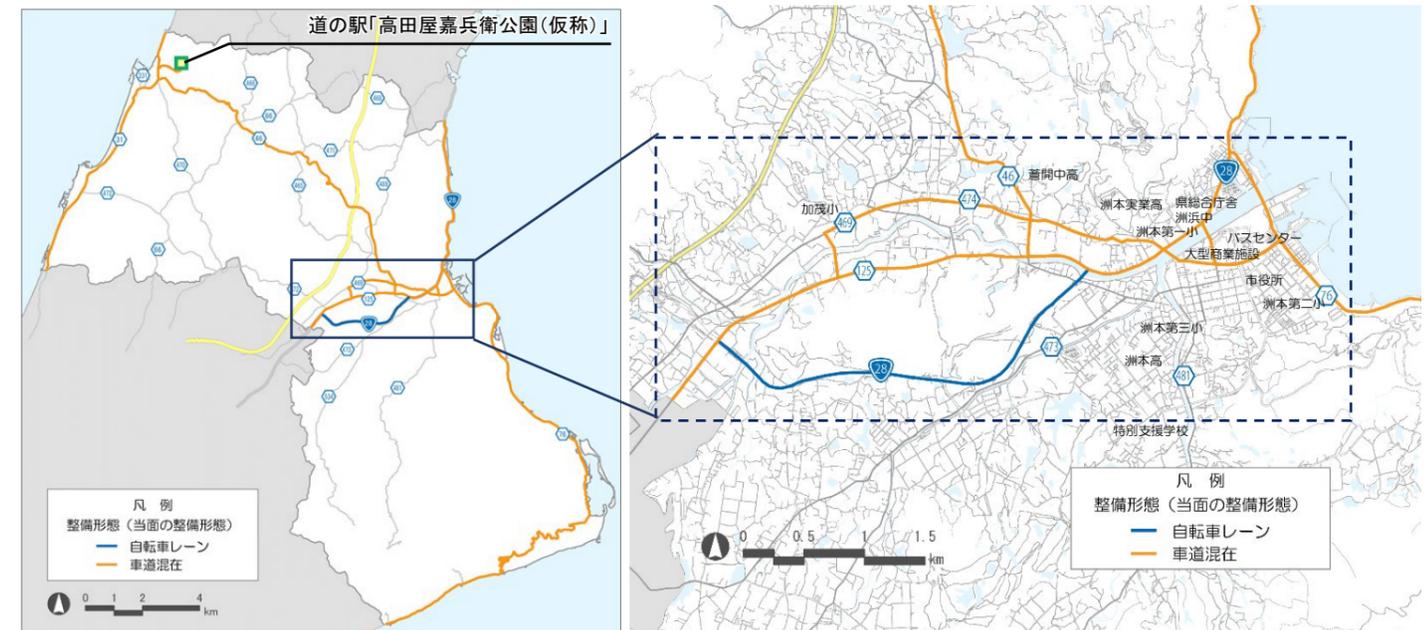


図 当面の整備形態（暫定形態）

## ■ 安全利用にかかわる取り組み

自転車の安全対策として、自転車利用ルールの周知等ソフト対策や路面表示などの整備にも取り組みます。



路面表示の整備例（尼崎市）

## ■ 計画の推進について

本計画の推進にあたって、計画（Plan）に基づいた、各種整備等を実施（Do）し、整備の効果を把握・評価（Check）しながら、新たな課題が見つければ、さらに対策等の検討（Action）や、計画の見直し（Plan）を行うPDCAサイクルによる進捗管理を行います。

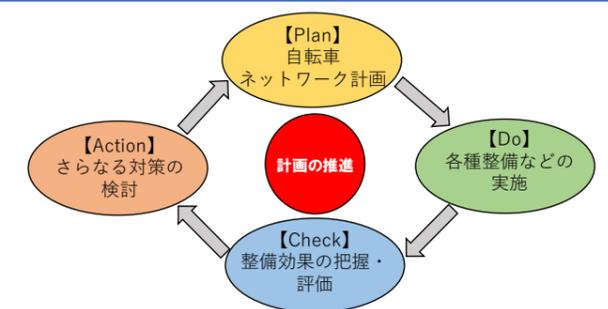


図 PDCA サイクル